

坂本龍佑 さかもと りゅうすけ 通信



西宮市議会
議員
最年少

連絡先(政新会控室) ▼ 市政相談などもこちらへどうぞ

〒662-8567 六湛寺町10番3号 議員控室 政新会

電話 080-2448-1226

メール info@sakamotoryusuke.com

ウェブ sakamotoryusuke.com



2022年 夏号

vol.2

当選のご報告



3月27日に行われました西宮市議会議員補欠選挙において、33,365票を頂戴し、初当選いたしました。ご支援いただきました皆様に心より御礼を申し上げますとともに、これからの活動におきまして、全力で取り組む所存でございますので、是非関心をお寄せいただけますようお願い申し上げます。

所属党派 政新会 常任委員会 建設常任委員 副委員長

建設常任委員会においては、未経験ながら、副委員長の職を任命いただきました。

建設常任委員では中央体育館の建て替え、リゾ鳴尾浜の跡地利用、市営住宅の建て替えや管理、公園の整備、上下水道などのインフラ整備について議論しております。

特に、中央体育館の建て替えは、2029年の全面供用開始を目指して、検討が進められています。



▲ 一般質問の様子



▲ 自民党青年局での活動



▲ 廣田神社での清掃活動



▲ 駅前での街頭活動

6月定例会で一般質問を行いました! 内容は裏面をご覧ください

坂本龍佑 プロフィール

1992年生まれ。29歳。西宮市弓場町在住。

趣味：テニス、ゴルフ、阪神の観戦、将棋、子供と遊ぶこと

家族：妻と娘（2歳）

2011年 私立啓明学院高等学校卒業

2015年 関西学院大学経済学部卒業

2015年 三菱地所レジデンス株式会社 入社

2020年 株式会社芦屋サンクスホーム 入社

2014年 ラクロス全日本大学生選手権2位

2016年・2017年 同部コーチ

SNSで情報発信中!
ぜひフォローしてください!

Twitter @skmt_ryusuke



Instagram @ryukg3



Facebook 坂本龍佑





01 育成センターと民設学童保育のあり方について

質問

育成センターの4年生の受入実施が41のうち23の小学校と遅れているにもかかわらず、来年度以降の育成センター、民設学童保育の施設整備の方針が作成されていませんが、早急に進めるべきではないでしょうか。

また、**育成センターの増築、新築は民設学童保育の新設と比較し、約5倍の費用がかかる**ことから、民設学童保育の拡充を進めていくべきではないでしょうか。

市の回答

全育成センターでの4年生受け入れの早期実施、利用児童数増加に対応するための受け入れ枠の拡大に向けて**施設整備のあり方を今年度中に更新**します。

民設の学童保育については、将来的な学童利用も見据えながら育成センターと民設学童保育を並行して新設を進めていきます。

これからについて

方針の作成について回答が得られた点は良かったと思います。ただ、近隣他市と比較して、西宮市は学童保育の高学年受入が遅れています。高学年の受入体制を一刻も早く完了させるように、方針の確認と要望を続けていきます。

また、民設学童の認知度はまだまだ低いですが、需要に合っていれば民設でも育成センターでもどちらでも良いという利用者が6割程度いることから、利用者がどちらにするかを選べるような環境整備を求めていきます。



02 ペーパーレスの推進と電子契約

質問

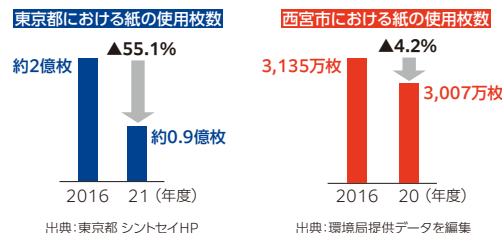
- 市のペーパーレスの推進は**5年間で約4%の削減**で、目標設定も「**前年を上回らない**」であることは、環境学習都市として大きな問題と考えます。**明確な削減数値目標の設定とHP等で結果の公開をすべきではないでしょうか。**
- 神戸市**で電子契約の導入が決まり、**印紙税、郵送費の節約や職員の労働時間の削減**が想定されています。西宮市においても、早急に導入に向けて進めるべきではないでしょうか。

市の回答

- 前年を上回らないという抑制的目標ではなく、**意欲的な目標を掲げていけるよう検討するとともに、進捗状況のHP公表についても検討**します。
- 電子契約については、財務会計システムや入札システムとの連動を見極めながら、導入について検討していきます。

これからについて

ペーパーレスにおいて、東京都では**2021年度が2016年度比で約55%削減**しているという事例もあります。



どんな目標も数値目標を設定し、それに対する効果検証を行っていくという習慣をつけるように求めていきます。

電子契約には、紙の削減だけでなく、保管場所の削減といった効果もあります。新しい仕組みには積極的に取り組み、若い感覚で行政改革を推進して参ります。



03 教育環境保全のための住宅開発抑制に関する指導要綱の地区指定の見直しについて

質問

西宮においても**人口減少時代**に突入している中で、**教室不足を理由とするマンションの開発抑制が多くの地域で続いています**。大社小学校校区では16年間厳しい制限が続き、香櫨園、春風、安井小学校では、増改築の完了や、児童の減少などが進み、必ずしも教室不足でないのに、規制が続いている地域がある中で、各小学校の状況を見ながら、早急に緩和をすべきではないでしょうか。

市の回答

児童生徒数が増加している校区もあるため、校区ごとの人口動態を見極めながら、**しかるべき時期に地区指定の緩和を検討**します。本年12月に来年度からの緩和について次の見直しのタイミングが来ますが、そのタイミングでの見直しが可能かどうかについても検討して参ります。

これからについて

少子化の流れの中で、ファミリー向けマンションが販売されないように規制をするのは、時代の流れに逆行しています。それによって、**西宮の都市計画にも大きな影響**を及ぼしています。また、**校区内に老人ホームばかりが建設されたり、土地を売却することを断念されたり**するなどの弊害が出ると、魅力ある都市環境を整備していくことができません。

乱開発があってはなりません、「住みたい街」西宮であり続けるために、本当に必要な制度、規制について不動産会社での経験を活かし、市政に反映して参ります。

